

育成講座を無料で受講OK

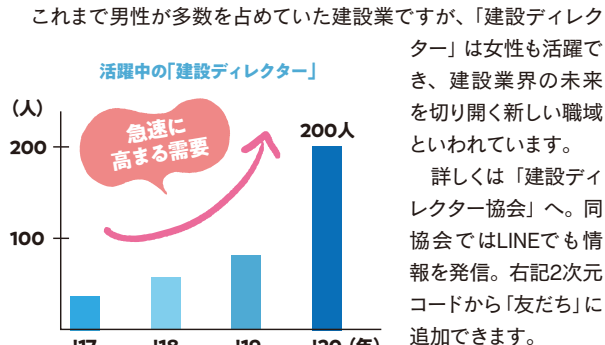
建設ディレクターって 知っていますか？

道路・橋・住宅・学校など、身近な施設を整備し、便利で快適な生活を支えている建設業。

国土交通省によると、建設業に関わる会社は全国に約47万社あり、就業人口は約500万人。日本経済はもちろん地域経済においても重要な産業です。近年多発している自然災害からの復旧に加え、老朽化が進む橋やトンネルといったインフラ整備の維持メンテナンスを担う「地域の守り手」として、建設業への期待がますます高まり、なくてはならない仕事の一つとなっています。

一方で、「3K（きつい・汚い・危険）」のイメージが強く、女性が活躍できる場が少ないと思いがちかも。今は「新3K」として、「給料が良い」「休暇がとれる」「希望が持てる」を実現するために業界全体でさまざまな取り組みが行われ、働き方改革、女性活躍にも力を入れているといえます。

そうした中、ものづくりのプロたちを支える仕事として注目されているのが「建設ディレクター」です。ITスキルとコミュニケーションスキルで現場とオフィスをつなぎ、工事書類に携わる事務方の専門家として、働き方改革につながる役割を担います。



※同協会が統計したデータを元に作成



「建設ディレクター」として女性が活躍



氷河期世代（35～54歳）は 無料で資格がとれるチャンス！

現在、アルバイトやパートなど非正規雇用として働く就職氷河期世代（35～54歳）で正規雇用を目指す人へ。「建設ディレクター協会」では、無料で専門知識を身につけられる「建設ディレクター育成講座」の受講者を募集。厚生労働省「就職氷河期世代の方向け資格等習得コース事業」の対象のため、受講は無料です。

申し込みは4/20（火）まで。まずは問い合わせを。



ものづくりのプロを支える仕事です

「建設ディレクター」を導入した
建設会社社長の櫻井馨さん

建設業に携わるなかで、常に問題意識を持っていたのが業務の効率化です。建設業の人材不足の理由の一つに長時間残業があります。業務の効率化を図るため、「建設ディレクター」の導入を決めました。事務作業を通して各現場を知ることができる「建設ディレクター」は社内の情報共有を推し進めるポジションであり、会社のレベルを底上げする貴重な存在です。まだまだ潜在的なニーズの仕事なので、より多くの人にチャレンジしてほしいと思います。

どんなことを学ぶの？

建設業の社会的役割や動向、そして専門用語や工事の種類といった基礎知識を習得し、工事書類の実務に必要な知識を学べます。

どんな資格が 取得できるの？

「建設ディレクター」「建設業経理事務士4級」の資格取得が可能です。



講習はオンライン形式で実施

前回の受講生の声

建設業はなくてはならない仕事です。スキルを身につければ必ず活躍できると思うので、チャンスを逃さないでほしいと思います。



建設ディレクター協会

TEL075-431-0011

上京区近衛町33

9:00～17:30（土日祝除く）

<https://kensetsudirector.com/>

